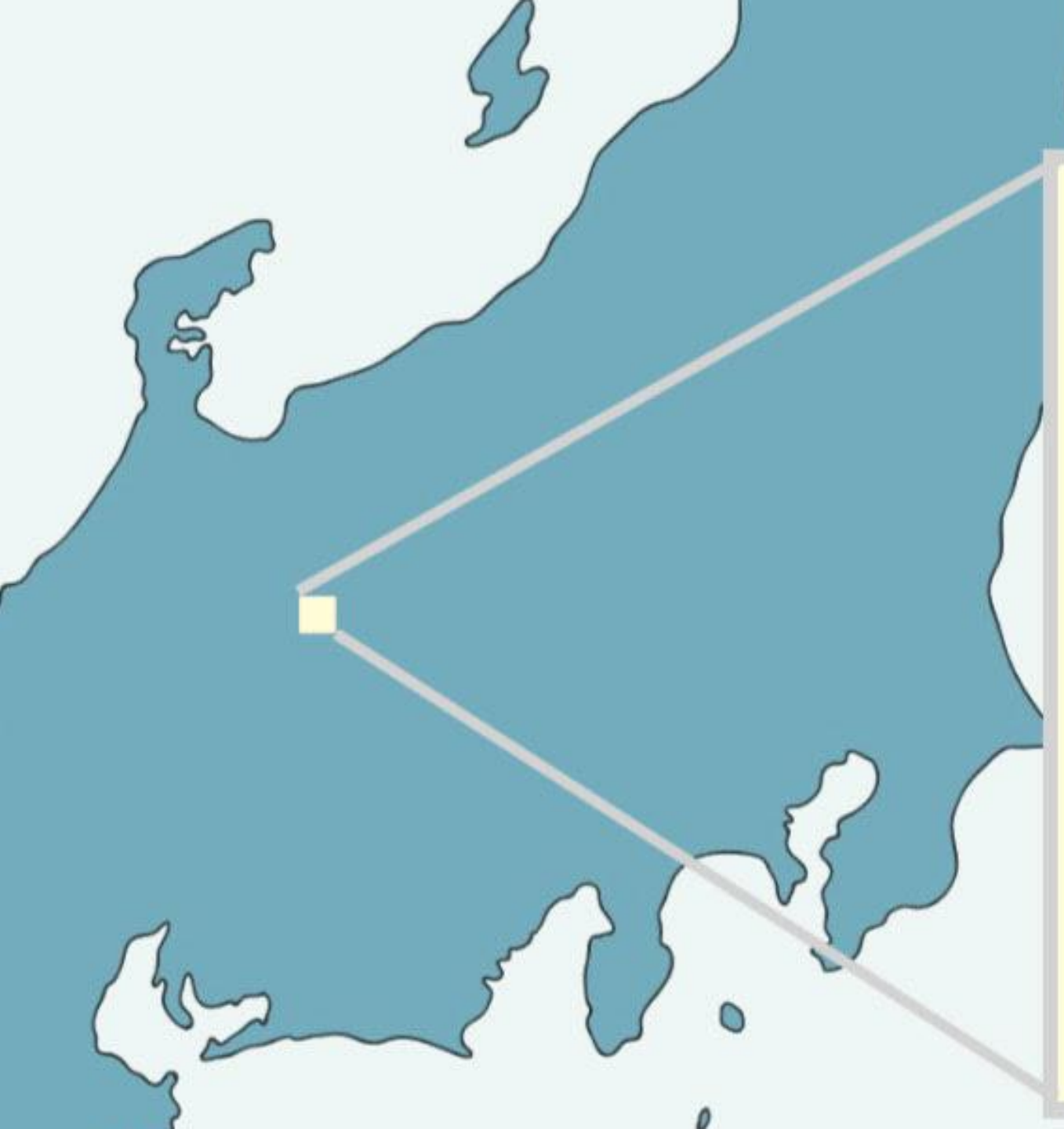




持続性ある奥飛騨温泉郷 インターンシップ事業の実現をめざして

名古屋外国語大学
現代国際学部 国際教養学科

池田桃，太田来春，加藤智也，熊田和輝，小坂晴南，長友那光夏，
福寄千晴，松村愛良，山こころ，横澤悠菜，吉川里桜，和田彩羽



1. 発表内容

- 1) 事業の実施状況
- 2) 持続性ある事業の実現



2. 方法・期間

【募集対象】

全国の大学生、短大生、専門学生

【募集期間】

2025年5月20日(火) ～7月31日(木)

【募集方法と採用までの流れ】

- ①広報
- ②応募申し込み
- ③採用の可否



北アルプスのふもと、自然美と癒しの郷愁

奥飛騨温泉郷

intern
ship



あなたなりのおもてなしを

この夏、奥飛騨で。

インターンシップの目的

当インターンシップは、奥飛騨温泉郷の旅館において人材育成と地域の魅力を発信し、観光促進に寄与することを目指しています。

開催日程 2025年8月から9月まで

※各旅館によって開催時期が異なります。



@OKUHIDA_INTERNSHIP

プロジェクト
名古屋外国語大学
国際教養学科
佐藤ゼミナール

Email: info.connect.sato@gmail.com

参加旅館

- いろいろの宿かつら木の郷
- 元湯孫九郎
- 湯元長座
- 山里のいおり草円
- もずも

奥飛騨温泉郷
夏季学生インターンシップ

挑戦か？

旅をしながら新たな自分を見つけてみませんか？

成長か？

OKUHIDA
ZENGO

■インターンシップ目的

奥飛騨温泉郷の旅館でのインターンシップを通して人材育成と地域の魅力発信を図り、観光促進に貢献することを目的としています。

■開催日程

2025年 8月～9月

※各旅館によって時期が異なります

名古屋外国語大学 国際教養学科 佐藤ゼミナール

Email: info.connect.tsato@gmail.com

参加旅館

- ・いろいろの宿かつら木の郷
- ・元湯孫九郎
- ・山里のいおり草円
- ・湯元長座
- ・もずも



@OKUHIDA_INTERNSHIP

3. 結果

応募者数：18名

採用者数：15名（1名は採用後辞退）

他大学からの問い合わせ：2名

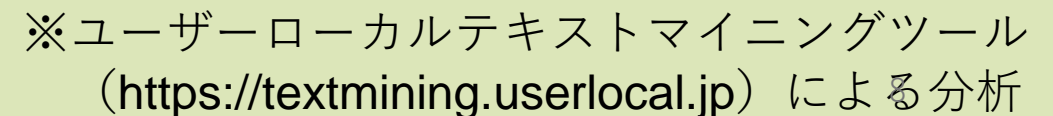
応募者数：1名

採用者数：0名

各旅館に配置されたインターン生の内訳



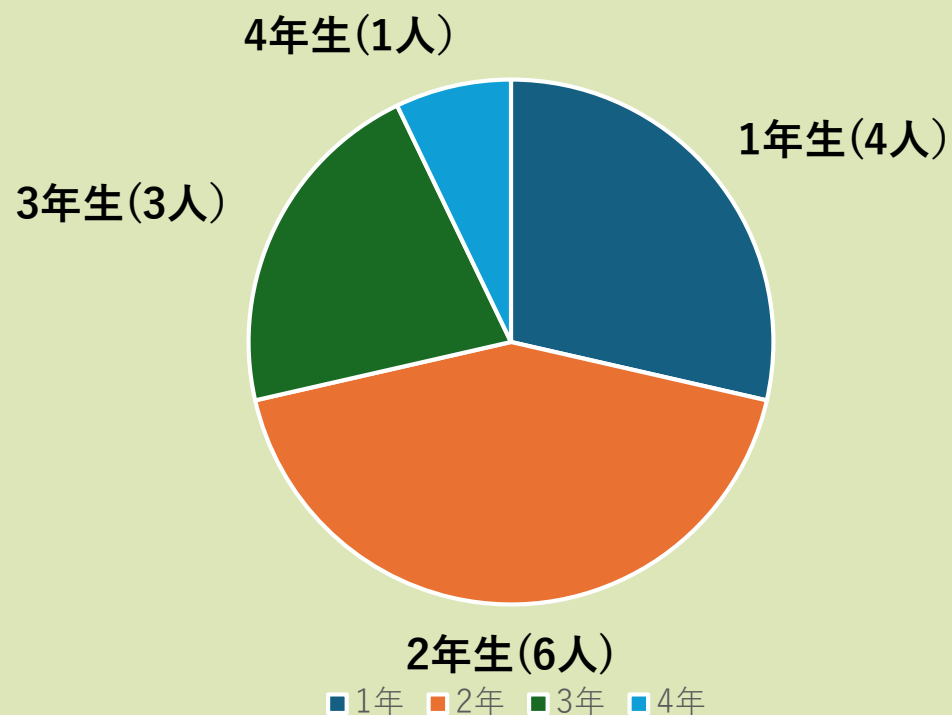
A旅館	B旅館	C旅館	D旅館	E旅館
4名	1名	1名	2名	6名



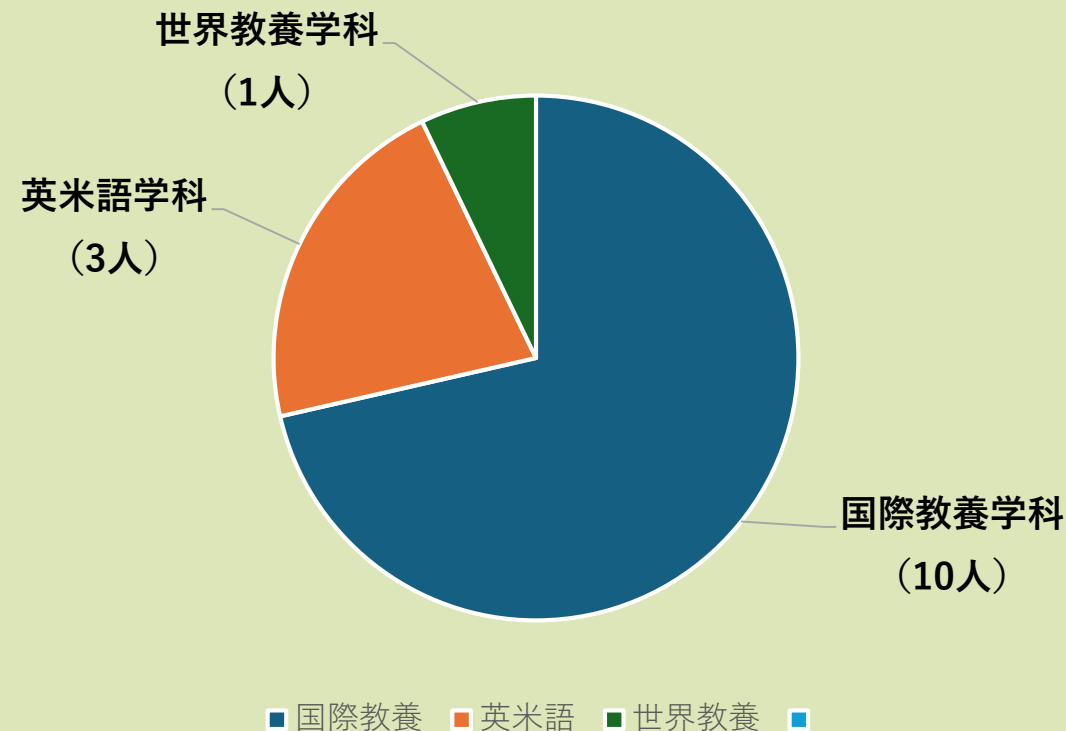
インターン生のプロフィール



学年別参加者の数 (n=14)



学科別参加者の数 (n=14)



学年では2年生が最も多く、学科では国際教養学科の学生が最も多い

4. 昨年度の教訓を踏まえた事業実施状況



【改善できた内容】

- 1) 昨年度のインターン生の体験談や旅館側の声をSNSで紹介
- 2) アルバイトとの差異化のため旅館のインターン生担当者による中間・最終フィードバックの強化
- 3) 運営側で担当制を設け、旅館側とのより円滑な連絡を促進
- 4) 8時間の労働時間の徹底と報酬の統一化

5. インターンシップ事業評価

5-1. インターン生側からの視点



【調査方法】

Google Classroom上で、参加者にインターンシップ前後の
事前・事後アンケート調査の実施

【項目】

- ・ 取り組んだ業務内容
- ・ 自己評価
- ・ 事業参加における自身の目標（目指す姿、習得したいスキル）
- ・ インターンシップを通して学んだこと

業務内容

接客

配膳、フロント業務、お茶出し、館内説明、
部屋の案内、お見送り

裏方業務

清掃（客室、浴場）、皿洗い、布団敷き・片付け

自己評価



- ・ **前に踏み出す力・思考する力**

自ら物事に進んで取り組む、粘り強く取り組む
目的と課題を明らかにする

- ・ **チームで働く力**

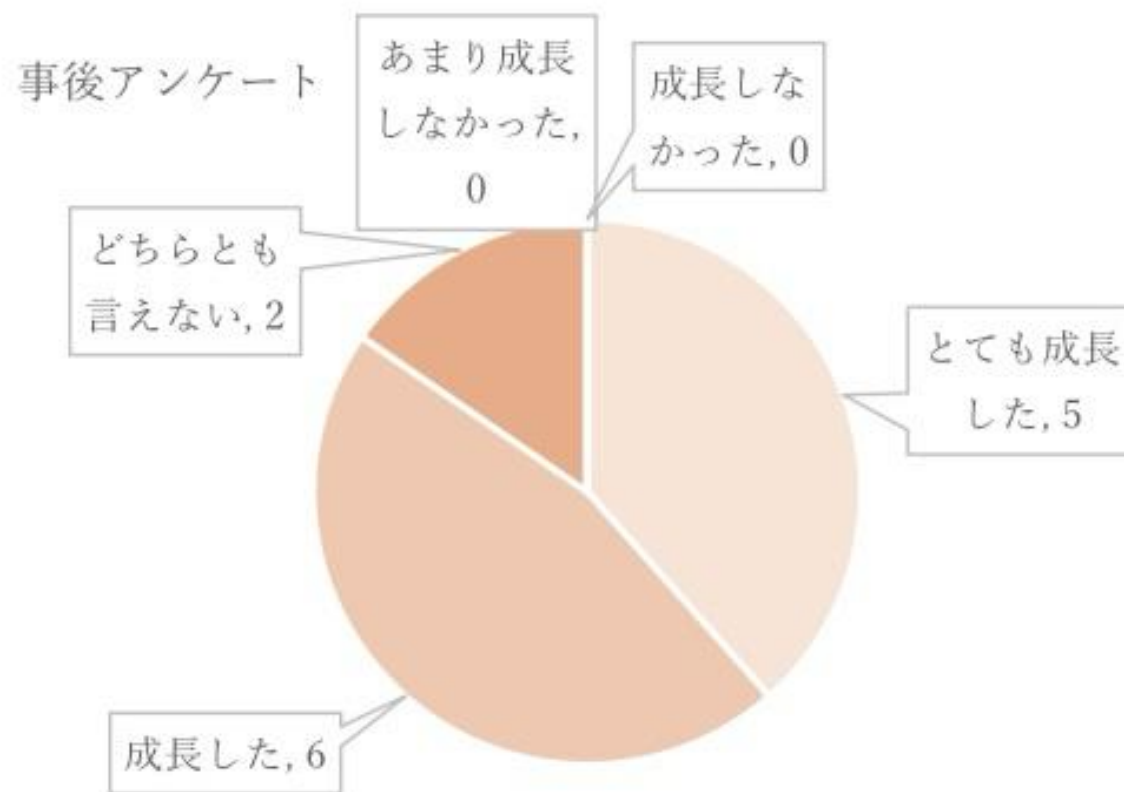
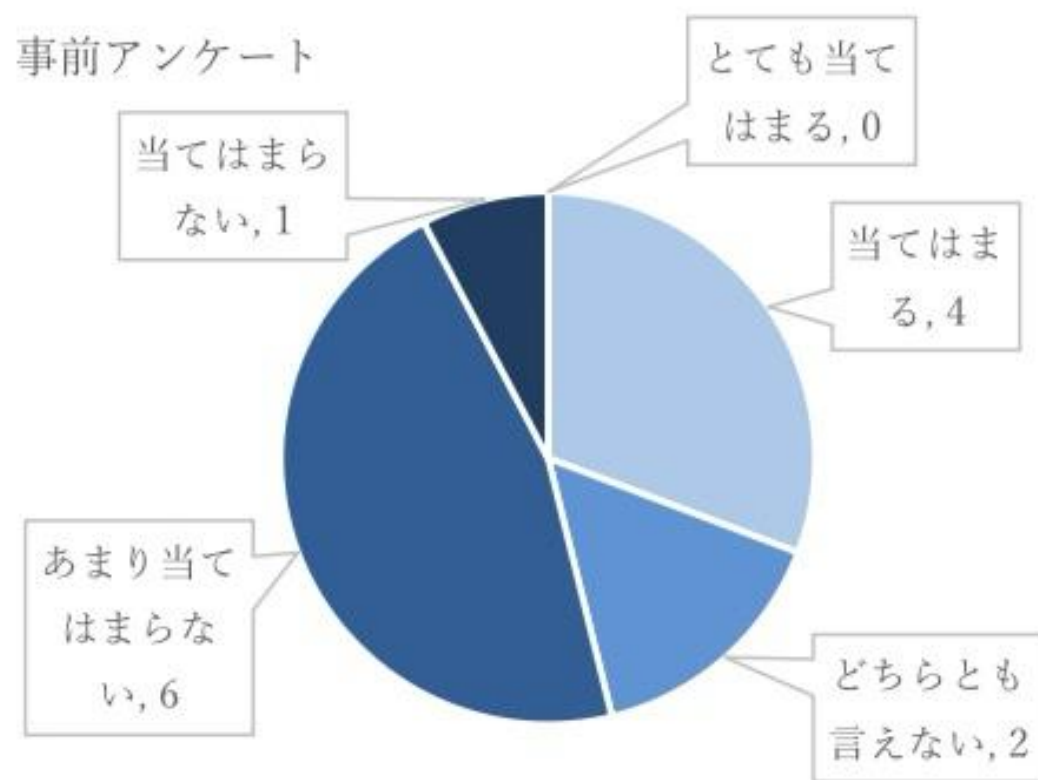
自分の意見をわかりやすく伝える、状況判断する
メンバーの意見をていねいに聞く

- ・ **おもてなしの力**

礼儀・マナーを守る、客への言葉遣いに気を付ける、客との会話を楽しむ、冷静に物事に対処する

チーム内で自分の意見をわかりやすく伝える

(n = 13)



インターンシップを通して学んだこと



接客・おもてなし

- 敬語・表情・所作など非言語の重要性
- 世間話を通じたお客様のニーズ把握
- スタッフ間の連携・確認の大切さ
- 接客英語を実践し、外国人対応を経験

地域・文化への理解

- 郷土料理や観光地を学び、地域文化を理解

自己成長

- 自発的に行動し、反省を次に活かす
- 業務の優先順位を考え、主体的に行動
- お客様の期待を意識した対応力向上

5. インターンシップ事業評価

5.2 旅館側からの視点

【調査実施時期】

2025年10月18日(土) ~10月20日(月)

【調査方法】

対面での聞き取り調査

【調査項目】

- 1) インターンシップの全体評価
- 2) 受け入れ側の今後の対応

旅館側からの視点

【結果】

1) インターンシップ全体評価

- ・ **実際のインターンの期間、時期、勤務時間は適切であったか**
→ 2週間では短いと感じる旅館が多かった
- ・ **本事業は人材不足解消に繋がったか**
→ 全旅館から人材不足の解消に繋がったとの回答を得た。

旅館側からの視点



【結果】

2) 受け入れ側の今後の対応

- ・ **来年も本事業を継続するか**

全旅館から来年も継続したいとの回答を得た。

- ・ **今後どんな人材を求めるか**

- ・ 3週間以上参加できる学生を求める
- ・ 1.2年生は旅館に活気をもたらすため、より魅力的
- ・ 就活を終えた3.4年生には長期インターン

6. 考察



- SNS発信による人材の拡がり
- 旅館側のフィードバック強化により学びの質が向上
- 短期型（2週間以内）から長期（2週間以上） ・ 継続型への転換の必要性
- 季節需要などを考慮した運営体制の構築

7. 今後の展望

～持続性ある事業の実現を目指して～



1. 繁忙期の再度のインターンシップ参加
2. 地域との継続的な関係維持の仕組みづくり
3. SNS強化による人材確保

ご清聴ありがとうございました

2024年度・2025年度インターンシップ事業
運営スタッフ